

# STEAM教育推進事業

## R6年度の 主な取組成果

- ・データサイエンスや宇宙、脱炭素、生成AI等に関する先端技術、関連産業等を中心としたSTEAM教育の実践。
- ・学校、学年の枠を超えた、課題研究特別講座により、生徒の「探究的な学び」の取組の実践。
- ・データサイエンス EXPO や STEAMフェスタの実施。

## 主な課題

- ・STEAM教育を通じてデータサイエンスの理解が進む中、各高等学校の「総合的な探究の時間」等において、どのように活用し、どう実践するか。また、他の教員をどのように巻き込むか。
- ・課題研究などの探究型学習の質を向上させるために、専門的なアドバイスや探究サポートの充実。

## 取組方針

- ・「総合的な探究の時間」にデータサイエンスを活用した具体的な授業を実践し、「探究的な学び」の質の向上を図る。
- ・探究サポート体制を強化し、STEAM教育を通じて、課題発見・解決力やデータサイエンスなどの力を育み、地域課題の解決ができる人材を育成する。

### 探究学習の基盤「データサイエンス力」の育成

- データサイエンス実践講座（6月実施）
  - ・高校1、2年生を対象。
  - ・**専門科による講演**からデータの基本的な扱い方や実社会との関わりを学び、データの整理分析力の向上させる。
  - ・STEAMをベースにしたワークショップによる課題解決思考の体験。
  - ・データサイエンスを通じて、事象を観察分析することで問題の解像度を高める。

### 生徒の挑戦意欲の醸成 学校・学年の枠を超えた取組

- STEAM課題研究特別講座（半年間を通して参集・オンラインで実施）
  - <テーマ>  
データ駆動型問題解決で、サステイナブルな未来を考えていく。
  - <興味領域の提供>  
現状の社会問題・環境エコ・生成AI・健康再生可能エネルギー・ローカル食等
  - <探究サポート体制>  
専門領域の企業・専門家に加えて、国内の大学との連携を強化し、問題発見、課題設定に関する講義やアドバイスを受ける。（東京大学 先端科学技術研究センターなど）
  - [スキーム]
    - ・対象：高校1、2年生
    - ・個々人の興味領域を深堀りし、学年・学校の垣根を超えた4,5人×10班程度に分け、半年間を通じて研究を行なう
    - ・STEAMサポーター（企業、大学、大学生）が研究を支援
    - ・企業・大学への訪問＋ヒアリング、フィールドワーク、専門家との遠隔会議等を活用して研究を進める

### 「総合的な探究の時間」の質の向上

- 教員の探究的な学びスキル向上
  - 1) 教員向け統計学スキルアップ講座（5月に実施）  
「総合的な探究の時間」や「課題研究」等の授業の指導において必要となるデータサイエンスに関する実践的な手法を学ぶ。
  - 2) 教員向けPBL（Project Based Learning）実践講座  
STEAM教育の推進や探究活動を推進する手法に関する実践講座。
  - 3) 教員向け「総合的な探究の時間」「課題研究」  
事例発表・情報共有・研究会  
各校における「総合的な探究の時間」及び「課題研究」の実践事例の発表・情報共有・研究会を実施。

### アウトプットの場の確保⇒県下へ波及

- 大分STEAMフェスタ（1月末実施）
  - ・**先端技術や宇宙技術、生成AI等のトップランナーによる講演と意見交換。**
  - ・年間の課題研究講座の取組みの成果発表。
  - ・先端技術を活用した学びの場の推進（宇宙、生成AI、未来食、未来の授業等に関連したワークショップの実施）

## 共通事項

- 事業全体の取組に対して、STEAM教育推進コーディネーターの設置（企画・立案・進捗管理）
- 生徒の研修に係る参加費・旅費・バス代等の負担
- 特設HPでの取組事例の配信や、教員向けに情報共有・事例紹介の発信等